

資料 5-1

科学技術イノベーション政策における
「政策のための科学」アドバイザー委員会
(第6回) H29. 2. 15

**科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」
推進事業の運営状況**

2017年2月15日
文部科学省企画評価課
政策科学推進室

【基盤的研究・人材育成拠点整備事業】

別紙参照

【公募型研究開発プログラム】

○科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム

・「政策のための科学」第39回プログラム会議

【日時】2017年2月14日(火) 13:00~16:00

【場所】JST 東京本部 2階会議室 3 (東京都千代田区四番町 5-3
サイエンスプラザビル)

【議題】H25年度採択プロジェクト(4課題)事後評価について

・第9回プログラムサロン

【日時】2017年3月14日(火) 13:00~18:00

【場所】JST 東京本部地下1階大会議室 (東京都千代田区四番町 5-3
サイエンスプラザビル)

【議題】H28年度採択PJによる発表及び今後の成果発信のあり方についての検討

【俯瞰・海外情報の提供等】

○コアカリキュラムの開発とも連動した俯瞰活動を継続的に実施。現在、カリキュラム情報、研究者情報等の SciREX ポータル掲載に向けた準備を実施。

○海外情報の提供(資料3)

【データ・情報基盤整備】

○科学技術イノベーションシステム及び人材・知の循環の状況に関するデータの整備

- (1) 「博士人材追跡調査」を通じた人材データの収集
- (2) 報告書「博士人材データベースのパイロット運用—政策・制度・運用の現状と改善に関する検討報告書—」(調査資料 No.255)の公表(2016年12月)
- (3) 報告書「第4回全国イノベーション調査統計報告」(NISTEP REPORT No.170)の公表(2016年12月)
- (4) 九州大学科学技術イノベーション政策教育研究センターが実施する「産学連携のマネジメントに関する調査」への連携機関としての参画(2017年2月より)

○関係機関ネットワーク会合の運営及び諸機関におけるデータ整備・活用の促進に向けた活動

(1) 第2回関係機関ネットワーク会合：12月13日（火）

- 国内外のデータ・情報基盤整備・活用の動向に関する報告
- e-Rad における研究成果・会計実績情報の登録等に向けた取り組みについて
（内閣府からの説明と意見交換）

ファンディング機関等有するファンディング情報のメタデータ整理の報告

(2) 第3回関係機関ネットワーク会合：2月17日（金）

- ファンディング・データの利活用の方向性について
- データ・情報基盤の構築・活用の動向

(3) データ・情報基盤を活用する研究者・専門家へのインタビュー調査

○科学技術イノベーション政策形成実務セミナー（文部科学省）

（第2回）「科学技術イノベーションに関する統計・指標入門」：12月1日（木）

- 文部科学省や他府省の若手行政官や他部局から出向し初めて科学技術行政に関わる職員などを対象に、科学技術イノベーション政策に携わる上で必要な基本的な知識・概念、関係する統計やデータ・指標の情報、及びその読み解き方を解説

基盤的研究・人材育成拠点整備事業の運営状況

2017 年 2 月 15 日

科学技術イノベーション政策研究センター

【活動内容、研究成果の情報発信】

- ・ 季刊誌 SciREX Quarterly の第 4 号 2017 年 2 月末刊行予定。
 - オープンフォーラム特集
科学と政策をつなぐ新たなプラットフォームづくりと、その先
「官民データ活用基本法」が変える社会
 - 行政官と考える「変革期の科学技術イノベーション政策」(総務省)
 - 【リレーエッセイ】物質研究・材料開発分野のオープンサイエンス
 - 【連載】基盤的研究・人材育成拠点紹介 Vol 5 (九州大学 CSTIPS)

【多様な関係者が相互に連携する場】

○SciREX セミナー (別紙 1 参照)

- ・ 各省庁の行政官、民間企業、大学関係者などが参加し、事業成果等を題材に議論を行う。2016 年度は 10 回程度開催予定。

(直近の開催状況)

- ◆第 18 回 SciREX セミナー 「イノベーションとレギュレーションの共進化」
日時 10 月 25 日 (火) 18 時 30 分～20 時 00 分
話題提供者 加納 信吾 氏 (東京大学大学院新領域創成科学研究科メデイカル情報生命専攻准教授)
ファシリテーター 藤田 卓仙 氏 (名古屋大学大学院経済学研究科寄付講座准教授)
- ◆第 19 回 SciREX セミナー 「日本の研究力強化と研究費制度改革」
日時 11 月 29 日 (火) 18 時 30 分～20 時 00 分
話題提供者 佐藤 靖 氏 (科学技術振興機構研究開発戦略センターフェロー)
コメンテーター 上山 隆大 氏 (総合科学技術・イノベーション会議議員)
- ◆変革期の科学技術イノベーション政策シリーズ 3
「労働市場のパラダイムシフト - 2030 年の Work Model -」
日時 12 月 8 日 (木) 18 時 30 分～20 時 00 分
話題提供者 中村 天江 氏 (リクルートワークス研究所)
コメンテーター 奥和田 久美 氏 (文部科学省 科学技術・学術政策研究所 上席フェロー)
- ◆変革期の科学技術イノベーション政策シリーズ 4
「気候変動が世界経済・世界金融に与える影響とは？」
日時 2017 年 2 月 22 日 (水) 18 時 30 分～20 時 00 分
場所 霞が関ナレッジスクエア エキスパート倶楽部
話題提供者 村上 芽 氏 (株式会社日本総合研究所創発戦略センター)

マネジャー)

コメンテーター時 奥和田 久美 氏

(文部科学省 科学技術・学術政策研究所上席フェロー)

○科学技術イノベーション政策のための科学オープンフォーラム

- ・ 科学技術イノベーション政策のホットイシュー、中長期的課題を、幅広い関係者が議論する場として開催。
- ・ SciREX の取組、成果を発信するとともに、政策担当者、実務者、自然科学者、人文社会科学者、メディア等と STI 政策の課題をオープンに議論し、課題に対する認識の向上、ニーズの把握等を行う。

実施時期時 1月 24日 (火) ~25日 (水) 於 イイノカンファレンスセンター
(別紙 4 参照)

参加者時大学 84 名、民間 64 名、行政 61 名

国立研究開発法人、独立行政法人 54 名、報道 10 名、個人 8 名、
学生 6 名、その他 27 名

○SciREX 交流研究会

- ・ 「科学技術イノベーション政策の科学」コミュニティの発展を目指し、各拠点に所属する研究者から発表を受けて、それぞれの拠点の研究内容を相互に理解し、拠点間の連携を深めることを目的とする。

◆第 1 回「STS 的発想とは？」

発表者時小林 傳司 大阪大学理事・副学長

日 時時 5 月 27 日 (金) 18 時 00 分~20 時 00 分 於 政策研究大学院大学

◆第 2 回「経営学者からみた STI 政策」

発表者：青島 矢一 一橋大学イノベーション研究センター 教授

日 時：7 月 28 日 (木) 16 時 30 分~18 時 00 分 於 大阪大学

◆第 3 回「科学技術イノベーション政策の科学においてはどのような課題が重要な
のか」

発表者：鈴木 達治郎 (長崎大学核兵器廃絶研究センター センター長・教授)

鈴木 寛 (東京大学公共政策大学院 教授、慶応義塾大学
政策メディア研究科兼総合政策学部 教授)

日 時：11 月 24 日 (木) 18 時 00 分~20 時 30 分 於 東京大学

◆第 4 回「科学技術と政治学」

発表者：城山 英明

(東京大学公共政策大学院教授、政策ビジョン研究センター長)

日 時：2 月 24 日 (金) 16 時 00 分~17 時 30 分

於 九州大学箱崎キャンパス 経済学棟 2F209 教室 (2 階)

SciREX セミナーについて

2017 年 2 月 14 日

政策研究大学院大学

科学技術イノベーション政策研究センター

1. 開催趣旨

科学技術イノベーション政策研究センター（SciREX センター）は、2014 年 8 月の設立以来、政策担当者と研究者、その他関係者が協働する場を提供し、政策立案者と研究者等の経験や専門性に基づき、効果的な科学技術イノベーション政策に資する方法論の開発を進めてきた。

本セミナーでは、SciREX 事業の進展を踏まえ、各プロジェクトの成果や進捗報告を題材に、政策担当者、研究者および関係者が率直な議論を行える場を設け、多角的な観点から政策課題を理解し、政策形成と政策研究の進化を促すとともに、関係者間のネットワーク形成の促進を図る。

2. 主催

政策研究大学院大学 科学技術イノベーション政策研究センター（SciREX センター）

3. 共催

文部科学省 科学技術・学術政策局 企画評価課 政策科学推進室

4. 場所

霞ヶ関、虎ノ門など近くの会議室

5. 実施方法等

- SciREX センター企画チームが、政策リエゾン、研究者及び関係者との協議を踏まえ、企画しています。
- コンパクトな話題提供により、十分な議論の時間を確保しています。
- 学術的に完成された成果物にこだわらず、議論に適したテーマ（素材）を選んでいきます。
- 可能な限り中堅・若手クラスの行政官・研究者からの話題提供を促しています。
- チャタムハウス・ルール¹により運営します。
- 2016 年度の SciREX セミナーは 2 トラック制とし、トラック I で「変革期における科学技術イノベーション政策」（4 回程度開催）、トラック II で SciREX の成果を踏まえた問題提起・議論（6 回程度開催）を行います。トラック I では、人口構造の変化、グローバル化、IoT/超スマート、オープンサイエンスなど、科学技術イノベーションを取り巻く環境を大きな枠組で捉え、長期的・グローバルな視点で、科学技術イノベーション政策が対峙する課題を議論していきます。トラック II では、これまでどおり、SciREX 各プロジェクトの成果や進捗報告を題材について政策担当者、研究者および関係者が率直な議論していきます。

¹ 参加者は当セミナーで得られた情報を利用できるが、その情報の発言者や参加者の身元および所属に関して秘匿する（明示的にも黙示的にも明かにしない）義務を負う。

6. セミナーの様子



シリーズ第3回 SciREXセミナー (2016年12月8日)

第18回SciREXセミナー

『先端医療を対象とした規制・技術標準整備のための政策シミュレーション』

話 題 提 供 者： 加納 信吾 東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻准教授
ファシリテータ 藤田 卓仙 名古屋大学大学院経済学研究科 寄付講座准教授
—：

◆ 日時・場所

2016年 10月 25日（火） 18：30～20：00 霞が関ナレッジスクエア エキスパート倶楽部

話題提供30分程度、その後ディスカッション http://www.kk2.ne.jp/kk2/ex_club_web/

◆ 言語 日本語

◆ 参加費 無料（事前登録制） <https://krs.bz/scirex/m?f=91>

◆ 概要

再生医療、先端医療機器などの先端医療分野では、新たな治療手段を迅速に臨床応用していくためには、技術標準・規制を整備していく必要があります。しかし日本においては、医療の実用化に必要なルール作りにおいてイノベーターとレギュレーターを含めた全体プロセスを体系的に捉えるという視点が、欧米に比べて欠けていると言われていています。こうしたルール作りにおいてイノベーターとレギュレーターとの間のコミュニケーションにはどのような課題があるのでしょうか。シナリオプランニング技法を用いて先端医療のルール作りにおける複数の将来シナリオを作成しました。当日は、シナリオから見える現状の政策課題とシナリオプランニングの有用性と限界について広く皆様とディスカッションできればと考えています。

※本報告は、JST RISTEX『政策のための科学』研究開発プロジェクト（H25年度採択）が2016年9月に終了する機会を捉えて開催するものです。

◆ 加納 信吾（かのう・しんご） 講師略歴

1989年東大大学院農学系研究科応用生命工学専攻修士課程修了、2002年学術博士（科学技術政策、東大先端研）。1989年～(株)野村総合研究所、野村証券(株)金融研究所、野村 R&A(株)、2002年～2013年 Aphoenix, Inc. (大学発創薬ベンチャー)代表取締役、2006年～2009年芝浦工大大学院工学マネジメント研究科教授、2009年～2011年大阪大学先端科学イノベーションセンター客員教授、(株)医学生物学研究所取締役を経て、2013年7月よりメディカル情報生命専攻バイオイノベーション政策分野准教授。

◆ 藤田 卓仙（ふじた・たかのり） ファシリテーター略歴

2006年3月、東京大学医学部卒業。2011年03月東京大学大学院法学政治学研究科修了。専門は、医療政策学、医事法学、医療経済学、医療情報学。基礎医学研究、臨床医学・医療、介護・福祉、ヘル



第19回SciREXセミナー

『日本の研究力強化と研究費制度改革』

話題提供者： 佐藤 靖 科学技術振興機構研究開発戦略センターフェロー
 コメンテーター： 上山 隆大 総合科学技術・イノベーション会議議員／政策研究大学院大学客員教授

◆ 日時・場所

2016年 11月 29日（火） 18：30～20：00 霞が関ナレッジスクエア エキスパート倶楽部

話題提供45分程度、その後ディスカッション http://www.kk2.ne.jp/kk2/ex_club_web/

◆ 言語 日本語

◆ 参加費 無料（事前登録制） <https://krs.bz/scirex/m?f=95>

◆ 概要

近年の我が国では、日本人のノーベル賞受賞が報じられる時にも、きまって将来的な悲観論が述べられるほど、研究力の低下が強く懸念されている。その背景として高等教育予算及び科学技術予算の伸び悩みと構造変化、そしてそれに伴う人材育成の停滞を挙げる人は多いだろう。果たして日本の研究力は今後回復できるのか、そのための現実的な方策は何か。本セミナーでは、科学技術振興機構（JST）研究開発戦略センター（CRDS）での検討内容を紹介しつつ、研究費制度改革という課題に現在世界的に関心が集まりつつあることを指摘し、今後の我が国の研究費制度の方向性などについて議論したい。

◆ 佐藤 靖（さとう・やすし） 講師略歴

専門は、科学技術史・科学技術政策。東京大学工学部卒業後、科学技術庁（現文部科学省）を経てペンシルバニア大学科学史・科学社会学科博士課程修了。PhD。日本学術振興会特別研究員 PD、政策研究大学院大学助教授などを経て2010年より現職。著書に『NASA－宇宙開発の60年』（中公新書、2014年）、『科学的助言－21世紀の科学技術と政策形成』（共著、東京大学出版会、2016年）など。

◆ 上山 隆大（うえやま・たかひろ） コメンテーター略歴

専門は、科学技術政策、科学技術史、高等教育論。大阪大学経済学部経済学科博士後期課程修了。スタンフォード大学歴史学部大学院修了（Ph. D.）。上智大学経済学部教授・学部長、慶應義塾大学総合政策学部教授、政策研究大学院大学副学長を経て2016年4月から現職。スタンフォード大学歴史学部・客員教授、東北大学工学部大学院工学研究科客員教授などを歴任。著書に『アカデミック・キャピタリズムを超えて：



◇◆SciREXセミナー◆◇

シリーズ「変革期における科学技術イノベーション政策」（第3回）

「労働市場のパラダイムシフト —2030年のWork Model—」

話題提供者： 中村 天江氏 リクルートワークス研究所労働政策センター長

ファシリテーター： 奥和田 久美氏 文部科学省 科学技術・学術政策研究所上席フェロー

◆ 日時・場所：

2016年12月8日（木） 18：30～20：00 ※話題提供45分程度、その後ディスカッション

霞が関ナレッジスクエア エキスパート倶楽部

◆ 言語：日本語

◆ 参加費：無料（事前登録制）

申し込みフォーム <https://krs.bz/scirex/m?f=96>

◆ 概要

2016年度のSciREXセミナーは、「変革期における科学技術イノベーション政策」をテーマに年4回、皆さんと議論していきます。急速なグローバル化の進展、人口構造の変化、革新的技術の台頭などのグローバルトレンドを見据え、中長期的に将来直面する課題を見据えた政策形成の重要性とその中で科学技術イノベーションの果たす役割について、専門家をお招きし話題提供いただきます。

シリーズ第3回目として、リクルートワークス研究所労働政策センター長の中村天江氏より、「労働市場のパラダイムシフト —2030年のWork Model—」について話題提供いただきます。

労働市場は今後、少子高齢化、産業構造の変化、テクノロジー・インパクトにより、3つのミスマッチが拡大していきます。その時、個人はいかにキャリアを紡ぎ、企業はいかに人材を活かしていくのか。日本型雇用システムが厳然と存在する現状から、いかに変革を起こしていくのか。

2025年の労働市場のシミュレーションと、2030年のWork Modelとともに、労働市場の今後の展望をお伝えします。15年後に向けた政策課題について皆さんと議論できれば幸いです。

◆ 中村 天江（なかむら・あきえ）講師略歴

東京大学大学院数理科学研究科修士課程終了後、1999年リクルート入社。就職・転職・キャリア形成支援サービスの企画を経て、2009年、リクルートワークス研究所に異動。「労働市場の高度化」をテーマに調査・研究・政策提言を行う。2011年、日本労務学会研究奨励賞受賞。2016年、人材採用に関する研究で一橋大学博士号取得（商学）、労働政策センター長に就任。「2025年 —働くを再発明する時代がやってくる」「東京オリンピックがもたらす雇用インパクト」「Work Model 2030 —テクノロジーが日本の「働く」を変革する」等を取りまとめ、現在、厚生労働省「同一労働同一賃金の実現に向けた検討会」や経済産業省「雇用関係によらない働き方に関する研究会」の委員を務める。専門は人的資源論。

◇◆SciREXセミナー◆◇

シリーズ「変革期における科学技術イノベーション政策」(第4回)

「気候変動が世界経済・世界金融に与える影響とは？」

話題提供者： 村上 芽 氏 株式会社日本総合研究所創発戦略センター マネジャー
ファシリテーター： 奥和田 久美氏 文部科学省 科学技術・学術政策研究所上席フェロー

◆ 日時・場所：

2017年2月22日(水) 18:30~20:00 ※話題提供45分程度、その後ディスカッション

霞が関ナレッジスクエア エキスパート倶楽部

◆ 言語：日本語

◆ 参加費：無料(事前登録制)

申し込みフォーム <https://krs.bz/scirex/m?f=111>

◆ 概要

2016年度のSciREXセミナーは、「変革期における科学技術イノベーション政策」をテーマに年4回、皆さんと議論していきます。急速なグローバル化の進展、人口構造の変化、革新的技術の台頭などのグローバルトレンドを見据え、中長期的に将来直面する課題を見据えた政策形成の重要性とその中で科学技術イノベーションの果たす役割について、専門家をお招きし話題提供いただきます。

シリーズ第4回目として、日本総合研究所創発戦略センターマネジャーの村上芽氏より、「気候変動が世界経済・世界金融に与える影響とは？」について話題提供いただきます。

現在、気候変動のリスクは自然科学分野での議論を超え、世界経済や世界金融の安定に向けた議論に移りつつあります。金融安定理事会(FSB)においても、気候変動リスクが金融安定に影響を及ぼし得る新たなリスクとして取り上げられました。一方、米国・トランプ政権は、就任直後からホワイトハウス公式サイトから気候変動対策を削除するなど、気候変動の研究、議論は新たな局面に直面しているともいえます。そこで本セミナーでは、気候変動が金融活動に及ぼし得る影響を金融安定の観点から概観し、金融安定と気候変動に関する最新の動向と今後の主要な検討課題についてご講話いただきます。新たなステージに入った気候変動の議論から、これまでの気候変動の議論を皆さんと見直していきます。

◆ 村上 芽 (むらかみ・めぐむ) 講師略歴

株式会社日本総合研究所マネジャー。1999年京都大学法学部卒業後、日本興業銀行(現みずほ銀行)で再生可能エネルギー分野のプロジェクトファイナンスに従事。2003年に日本総合研究所に入社し、現職。ESG投資や評価型融資向けの企業評価、気候変動リスクと金融、子どもの参加論などを手がける。近著に『投資家と企業のためのESG読本』(共著)。

《SciREXセンターよりお知らせ》

昨年2月より政策と科学を考える、をコンセプトに、季刊誌『SciREX Quarterly』を創刊いたしました。最新号(3号)の特集は「持続可能な保健医療システムとイノベーション」(厚生労働省)です。最新号およびバックナンバーは、以下URLへアクセスください。次号は2017年2月末刊行予定。

URL <http://scirex.grips.ac.jp/newsletter/index.html>